



特集

公共交通を守るために

—地域公共交通の現状と課題—

皆さんが最後にバスに乗ったのはいつですか。

公共交通機関は通勤や通学、通院、買い物など地域の日常的な移動手段として、私たちの生活に大きな役割を果たしています。しかし、バスの利用者は、自家用車の普及や過疎化の進行などにより年々減少が続いています。今は公共交通を必要としない人でも、将来車を運転しなくなったときや、家族の通勤や通学のことを考えると、公共交通機関は生活に不可欠な移動手段です。地域公共交通について、一緒に考えてみませんか。





2



1



5



4



3

1、2_ (株) 熊本バスの運転手 3_ 甲佐町営バスの「役場前」バス停 4、5_ (株) 麻生交通甲佐営業所

町内路線バスへの補助金

年度	補助金額 (千円)
H27	13,390
H28	19,832
H29	19,631
H30※	9,735
R 1※	7,919
R 2※	9,445
R 3	27,056
R 4	25,272

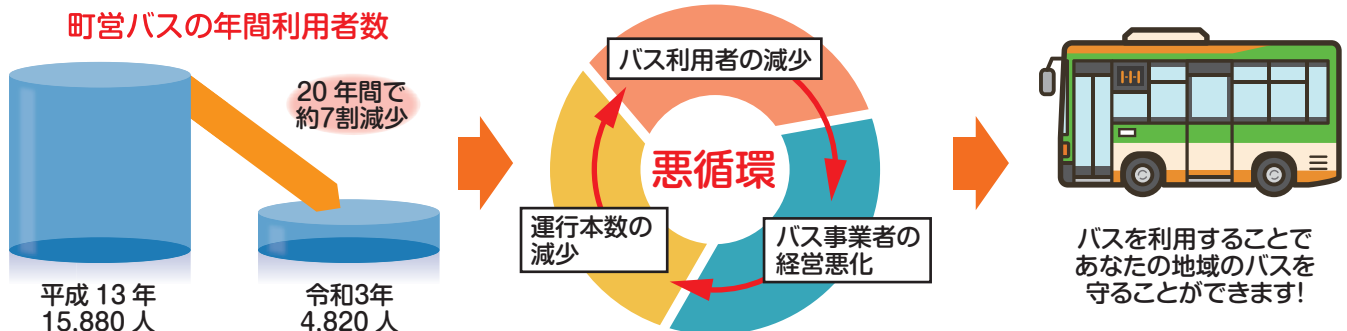
※ H30～R 2 は熊本地震の緩和措置で負担額軽減

路線バスには、補助金がなくては運行できない路線が多数あり、甲佐町は年間約2千500万円の補助を行っています。自家用車を運転できない人も含め、すべての人が自由に移動でき、豊かな生活が送れるよう、路線バスを維持しています。

■公共交通を維持するために

甲佐町では、路線バス（熊本バス、麻生交通）、タクシー（第一タクシー、麻生交通）町営バス（甲佐町）の3つの公共交通機関が運行しています。が、今回はバスについて考えます。バス事業は近年、利用者の減少に加え、運転手のなりて不足や燃料価格の上昇などにより経営は年々厳しいものとなっており、このまま利用者が減少し続けると将来にわたって現行どおりの運行を続けることは困難な状況となっております。特に社会の浸透が招く、バス利用者の減少は、下図のように悪循環を生み出しています。

■甲佐町の公共交通機関の現状



子どもたちや将来の自分のために



甲佐町企画課
古閑 敦 課長

■路線バスを守るためにできることは

地域の路線バス（公共交通）は、「乗らなければ、なくなってしまう」ということ、「すべての人が自由に移動でき、豊かな生活を送るためになくしてはならない」ということをみんなで考え、少しでも路線バスを利用することにより、地域に必要なものとして守っていきましょう。

■路線バスを利用するメリット

路線バスを利用することで得られる3つの「やさしい」をご紹介します。

①移動にやさしい

近年、高齢者の運転による交通事故が増加しています。路線バスは安全に、安価で安心して移動することができ、事故を少なくします。

②身体にやさしい

路線バスを利用することで歩く機会が増えるなど、消費するカロリーも増加し、健康維持に貢献します。



③環境にやさしい

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量は、1人を1キロメートル運ぶのに、バスは自動車の3分の1といわれ、みんながバスを利用することで交通渋滞の緩和にもつながります。



■地域公共交通を将来に残すために

地域の足「公共交通」を将来に残すためには、行政だけでなく交通事業者や町民の皆さんとの協働が不可欠です。

生活に必要な地域公共交通を維持していくため、公共交通機関の利用に皆さんのご協力をお願いします。

▼お問い合わせ先

町企画課
096・234・1115（内線253）

私たちが運行しています！



麻生交通
松本 信治 さん



麻生交通
松永 清治 さん

町営バスのドライバーとして毎日の運行を担っています。地域に密着した町営バスだからこそ、利用者の皆さんへの声掛けなどを通して、顔の見える関係を目指しています。

■甲佐小学校で乗り方教室を開催

令和4年12月12日（月）甲佐小学校でバスの乗り方教室が開催されました。

同教室は、（株）熊本バス（河内信明社長）が子どもたちにバスを身近な交通機関として認識してもらい、将来における公共交通の利用促進を目的に実施。甲佐小学校4年生の26人が参加しました。

児童たちは、時刻表や乗車の注意事項の説明を受けた後、ICカードを用いて乗降体験をしました。その後、実際に乗車し、町内を回りながら、バスの中でやって良いことと悪いことをクイズ形式で楽しく学びました。最後に児童たちが同社の職員に質問する時間が設けられ、「シートベルトはしなくても大丈夫なんですか」や「最大何人乗れますか」など、多くの質問がありました。



▲ ICカードを用いて乗降体験を行う児童

町営バスを利用する皆さん

通学の足として

現在、甲佐小学校に通う宮内地区に住む児童7人が通学で町営バスを利用しています。宮内小学校が閉校して以来、宮内地区に住む児童の通学の手段として利用されています。

通学で利用する児童は町営バスを無料で利用でき、町営バスの時刻の行きと帰りの時間は、学校が始まる時間と終わる時間に合わせてあります。バスを利用しないで歩いて通うと、1時間弱かかる児童もあり、通学の足として欠かせない存在となっています。

町営バスはフリー乗降制になっており、走行ルート内であればバス停でなくても乗り降りができます。そのため児童たちは自宅からバス停まで行く必要がなく、負担も軽減されています。



▲登下校に町営バスを利用する上揚区の子もたち

お出かけの足として

甲佐町役場から宮内方面（六谷坂谷線）と竜野方面（稲生野甲佐線）で運行している町営バスは、免許返納者などが利用し、病院や買い物などの普段のお出かけの一助になっています。

生活に欠かせない移動手段（利用者の声）

病院の通院や職場の通勤のため、約10年前から町営バスを週6日で利用しています。それまでの主な移動手段は自転車でした。歳を重ねるとともに自転車での長距離移動が困難になり、町営バスが家の近くを通っていたため利用し始めました。

町営バスは、運賃が一律200円で、身体障害者手帳や小学生以下は100円と安い値段で乗れるのでありがたく思っています。

私にとって、今では生活に欠かせない移動手段です。これからも町営バスの利用を続けていきたいです。



▲坂田道春さん（堂ノ原区）

バスを使って 野球を見に行きたい

甲佐小学校4年
國宇 稀心 さん
（大町区）



バスに初めて乗りました。今までは、バスの乗り方が分からなくて、バスの利用を避けてきました。今回、バスの乗車体験で運転手さんに詳しく教えてもらい、1人でバスに乗れる自信がついたので大好きな野球の試合を見に行きたいです。

将来はバスの運転手 になりたい

甲佐小学校4年
早川 夏弥 さん
（岩下一区）



バスに乗ったのは初めてですが、大勢の乗客の命を預かる運転手さんの姿がかっこよかったです。自分もそんな責任感のある運転手になりたいと思いました。今後はバスで移動する機会を増やしてバスのことをたくさん知ってみたいです。



▲車椅子の乗り入れを体験